

## 厚木市立中学校部活動地域展開推進計画策定に係る意見交換会について

意見交換会の名称	厚木市立中学校部活動地域展開推進計画策定に係る意見交換会	
開催日時	令和8年1月 14 日(水)午後7時から8時まで	
開催場所	厚木市役所第二庁舎 16 階会議室	
参加者数	14 人	
担当課	教育指導課	
結果公開日	令和8年1月 28 日(水)	
会議の経過	1 開会 2 担当部長挨拶 3 資料の説明 4 意見交換 5 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方
1	地域展開の開始時期はいつ頃を考えているのか。	国が示している令和 13 年度より前倒しして、令和 10 年度の間中評価までには、何らかの形で実施したいと考えております。
2	アンケートだけでなく、生徒が直接参加し、意見を述べる機会があるとよいのではないか。	今後の計画策定に当たっての参考とさせていただきます。
3	地域展開した場合、家庭の経済的な負担は。また、経済的に支援が必要な家庭への対応は。さらに、その点を計画に盛り込むべきではないか。	費用については、部活動の平均が月額 2,000 円程度とされています。国はこうした現状を踏まえ、月額 3,000 円程度と示しているため、それに基づいて判断していきたいと考えています。経済的な支援を必要とする家庭に対しての方策は今後、検討し、可能な限り盛り込んだ計画としてまいります。

4	管理体制は、市が管理するのか。	他市町村の状況を踏まえ、スポーツ・文化芸術に関する部署等と検討してまいります。
5	地域展開が始まるまでは、通学している学校に希望する部活動がない状況が引き続き残る。地域展開が始まる前の段階で、何か対応できることはないか。	活動機会に格差が生じていることは認識しています。今後、活動機会を確保するための方策について検討してまいります。
6	地域に希望する競技が存在しない、あるいは指導者を確保できないといった課題が生じる可能性はないのか。	生徒たちが困ることのないよう、地域人材の把握や発掘に努めていく必要があると考えております。
7	部活動は比較的低い費用で取り組むことができるが、その体制を維持することは難しいのだろうか。	廉価で参加できることが部活動の大きなメリットの一つであると認識しています。地域クラブ活動については、会費については受益者負担を基本としますが、市が認定した地域クラブ活動については、学校施設の利用を可能とする等、各団体が低廉な額の会費が設定できるよう検討してまいります。
8	地域クラブ活動と習い事の違いは。	地域クラブ活動は幅広い活動の機会を提供することを目的としている一方で、習い事は特定のスキルの習得を目的としている場合があります。スポーツ・文化芸術活動を「ふれる」、「あじわう」、「きわめる」と3段階で考えたときに、地域クラブ活動が目指すところとしては、「ふれる」から「少し味わう」ことを大切にしたいと考えております。
9	生徒は大会への出場を一つのモチベーションとして部活動に取り組んでいる。地域展開後においても、そのような環境が維持されることを望む。	一部、規程等の見直しを検討段階にある競技もありますが、多くの競技ではすでに地域クラブから大会に出場することができる環境が整備されています。
10	地域展開のメリットもわかるが、部活動が楽しみで学校に通っている子もいると思う。部活動を残していくことは考えないのか。	この地域展開は、単に部活動を学校から切り離すものではありません。少子化の影響や教員の長時間勤務の常態化などにより、部活動の持続可能性は著しく低下しつつあります。このため、将来にわたり生徒のスポーツや文化芸術活動を維持していくための取組として、地域展開に着手し

		ているところです。
11	今後、部活動を地域展開した場合、教職員以外の方が指導にあたることになる、指導の質や安全管理などについて不安を感じる。また、質の確保が重要であることは言うまでもないが、今後、全ての教職員が指導者を担わない体制となった場合、「量」の確保も課題になる。地域展開を進める中で、継続的かつ安定的に指導にあたる人材を十分に確保できるのか。	指導者の質については、指導者は生徒と信頼関係を築ける人材であることが重要であると考えております。生徒の心身の安全を第一に、研修等を行い、指導者の資質向上の取組を行う必要があると認識しております。量の面については、地域団体等との連携により、専門的な技術指導ができる地域人材の把握・発掘に努めていく必要があります、今後、検討してまいります。
12	生徒がさまざまな人との関わりの中で成長していくことは大切である。地域や社会の力を生かし、地域展開を実現してほしい。	学校と地域が協働して活動を創り上げていくことが重要であると考えております。
13	合同部活動は前例もあるため、早期に実施しつつ、実施しながら改善していく方法で進められることが望ましい。	現在、中学校に在籍している生徒の活動機会を確保するため、中体連・中文連や校長会と調整を図りながら、実施可能な形を検討してまいります。
14	保護者が送迎できないことを理由に、地域クラブ活動へ参加できない生徒がでないよう、安全に移動できる活動場所の設定や、移動手段についても併せて検討していただきたい。	活動場所への移動については、多くの保護者の皆様が安全面に不安を感じておられることを認識しています。送迎の負担については本取組の課題の一つとして認識しており、負担軽減のため、現存する部活動を生かす形であれば、市立中学校をいくつかのブロックに分けて、移動距離が少なくなるような仕組みを検討してまいります。
15	教員の過重労働防止対策を期待します。	教員の働き方改革の観点からも、部活動の地域展開が国の施策として、全国的に検討が進められております。休日の部活動の指導を望まない教員が、休日の部活動に従事しない仕組みを構築していく必要があると認識しております。
16	受益者負担の内容には、指導者への謝礼、施設利用料、保険料などが含まれると思われるが、それ以外にはどのようなものがあるのか。	大会参加等に係る交通費や消耗品費等が考えられます。

17	指導者の登録制度や研修制度は、市が直接管理するのか、それとも運営を委託する民間団体に一任するのか。また、指導者は、技術指導だけでなく、安全対策の講習を義務付ける必要がある。	指導者の登録制度や研修制度の管理主体については、今後検討していく予定です。また、指導者については、技術指導にとどまらず、事故防止などの安全対策に関する講習を受講することが重要であると認識しており、その在り方についても併せて検討してまいります。
18	「生徒の多様なニーズ」が守られるかという視点が大切である。推進計画の中でも、そのような考えをはっきりと明示してほしい。	地域展開に当たっては、その主役・当事者となる生徒を第一に考え、生徒のニーズに合った地域クラブ活動の構築等を行うことが重要であると考えています。今後の計画策定に当たっての参考とさせていただきます。